

遊びの指導学習指導案

平成 24 年 10 月 31 日(水曜日)

第 5 校時(13:25 ~ 14:10)

小学部プレイルーム 指導者 山崎千賀子・T 2

1 題材名 「ゴーゴーランドで遊ぼう」

2 考察

(1) 児童の実態 (児童 3 名)

本学級の児童は、これまでに遊びの指導において小麦粉やスライム、絵の具、水、紙などの様々な素材で感触遊びをしたり、シャボン玉や段ボール、的当て、ボウリングなどの遊びで道具を使って遊んだりしてきた。児童それぞれが好きな遊びで様々な感触を味わったり道具を使って遊んだりして、主体的に楽しむ姿が見られるようになってきている。しかし、本学級の児童は、コミュニケーション能力や人とのかかわり方、興味・関心などにおいて実態差が大きく、休み時間の過ごし方も異なり、それぞれが自分で好きなことを選択して遊んでいる。その遊びの幅はあまり広くなく、限られた遊びで毎日を過ごしていることが多いのが現状である。

キャリア教育の視点から作成したアセスメントシートを活用して児童のキャリア発達と遊びの指導との関連性をとらえると、本学級の児童は、個々にキャリア発達は異なるが、【人間関係形成能力】における興味のあることや好きなことを増やすこと、友達と場を共有して遊ぶこと、友達と一緒に仲良く遊ぶこと、また【将来設計能力】における身体を動かして遊ぶこと、好きな遊びに思う存分取り組み充実感や満足感をもつことなどが主な課題として共通している。

本題材にかかわる実態は、以下のとおりである。

児童	遊びの指導における現在のキャリア発達	本題材にかかわる実態
A 児	<ul style="list-style-type: none"> 教師の一部の支援によって、友達と一緒に仲良く遊んでいる。【人】 教師の一部の支援によって、身体を動かして遊んでいる。【将】 	<ul style="list-style-type: none"> 手足の動かし方の調整をすることが苦手だが、日常的に運動をしたり遊びの中で身体を動かしたりすることで、ジャンプやボール投げなどが少しずつできるようになってきた。 シャボン玉やボールなどの道具をゆっくり丁寧に遊ぶことが苦手である。段ボール箱や紙遊びでは、箱を足でつぶしたり蹴ったり、手で紙を破ったりして遊んだ。 教師とのかかわりが中心であり、「一緒に～しよう」と自分から言って教師と一緒に遊ぶことが多い。 アナログ時計を理解し、終了時刻を予告しておくこと、時間的な見通しをもって活動できる。
B 児	<ul style="list-style-type: none"> 教師の支援によって、友達と一緒に仲良く遊んでいる。【人】 教師と一緒に身体を動かして遊んでいる。【将】 	<ul style="list-style-type: none"> バランス保持や手足の動かし方を調整することが苦手であり、身体を動かして遊ぶことに消極的である。 道具を使って遊ぶことが苦手であるが、水遊びでは自分からじょうろやペットボトルなどの道具を持って遊ぼうとする姿が見られた。段ボール箱や紙遊びでは、箱を足でつぶしたり、手で紙を破ったりして遊んだ。 音声言語による指示はほぼ理解できるが、発語が少ないため指さしや自分なりの身振りや意思を伝えようとする。 周囲の人の様子を意識し、自分からかかわろうとするが、自分の思いをうまく伝えられず、不適切な行動で表現することがある。
C 児	<ul style="list-style-type: none"> 教師の支援によって、友達と一緒に遊んでいる。【人】 教師の支援によって、好きな遊びを増やしている。【人】 	<ul style="list-style-type: none"> トランポリンを跳んだり、高いところに登ったりすることが好きである。また、音に興味があり、物を上から落としたり音を出すことが好きである。 段ボール箱や紙遊びでは、トンネル状の大きな段ボール箱の中に入って寝転んだり、シュレッダーの紙に埋もれたりして遊んだ。 自分から教師や友達に働きかけてくることは少ないが、自分のほしい物ややりたいことなどがあると、教師の手を引いて伝えようとする。また、音声言語よりも、絵や写真カード、実物の提示などの視覚的な手がかりの方が理解しやすい。 活動場所や活動の流れ、使う道具などの状況の変化を受け入れることが苦手で、毎日の決まった流れの中であれば自分から進んで活動する。

※【人】：人間関係形成能力、【将】：将来設計能力

(2) 題材観

本題材で扱う風船は、ボールに比べて投げたり打ったりした後の動きがゆっくりであり、当たったときの衝撃も小さく、ボールを投げたり捕ったりすることが苦手な児童でも、風船を使って身体を動かしながら遊ぶことができる遊具である。また、教師が介入しながら、友達と一緒に風船を投げたり打ったりして遊ぶこともできると考える。さらに、風船の材質や大きさによっては、大きくバウンドさせたり、風船の上に乗って揺れる感覚を楽しんだり、風船の中に鈴などを入れて音を楽しんだりできる遊具である。

台車は教師や友達と一緒に乗って楽しむことができる遊具である。本題材では、台車にスロープとトンネルを組み合わせて設定し、スピード感やトンネルをくぐるときのワクワク感などを味わいながら楽しむことができる。また、一人で乗るよりも、友達と乗ることによって楽しさを共有することができ、友達を誘ったり誘われたりして遊ぶ姿も期待できる。さらに、台車に乗るときに、自分から友達につかまって乗ることも期待できる遊具である。

迷路は、本学級の児童がこれまでに経験した遊びの中で、共通に興味をもって遊んだ段ボールを活用した遊具である。トンネル状にした段ボール箱を隙間なくつなぎ合わせて作った迷路を設定し、四つばいや腹ばいな

どの姿勢で両腕や両足などの身体を動かして遊ぶことができる。くねくねした迷路を「ゴールはどこかな？」と探しながら進むことで、ワクワク感も味わいながら楽しむことができる。また、箱の中に入ることが好きな児童については、自分から意欲的に迷路に入って遊ぶ姿が期待できる。さらに、友達が迷路に入って、その姿が見えなくなることで、友達の後から迷路に入ろうとするかかわりも期待できる遊具である。

本題材では、空き教室である小学部プレイルームを遊び場として、1時間ごとに風船、台車、迷路の順に遊具を増やしながらか遊びを展開していく。初めに、広いスペースで思う存分身体を使って遊べる風船から取り入れる。大小や素材など様々な風船を取り入れたり、風船プールやハンモックなどの場の設定をしたりすることで、児童が興味・関心を持ち、教師や友達と一緒にかかわりながら身体を動かして遊ぶことが期待できると考えた。そして、友達と一緒に乗ることで自然なかかわりを促すことができる台車、友達と一緒に且つ身体も動かして遊べる迷路と、一つの遊具に限定せず三つの遊具を取り入れることにより、様々な遊び方で遊ぶ教師や友達の様子を見ること、友達を誘うこと、誘われることなどを通して、いろいろな遊びを経験でき、児童の遊びの幅を広げることに役立つと考える。また、これらの遊具を活用して、児童の実態や特性などを考慮しながら場の設定を工夫し、教師も一緒に楽しく遊びながら適切に支援することにより、児童それぞれのキャリア発達を促すことに役立つと考え、本題材を設定した。

なお、本題材は、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』[生活]の目標及び内容1段階(3)「教師や友達と同じ場所で遊ぶ」、さらに、自立活動の目標を受けている。

3 題材の目標

(1) 集団の目標

- ・教師や友達の誘いや遊ぶ様子を見ることにより、友達と場を共有して遊んだり、教師や友達と一緒に遊具で遊んだり、身体を動かして遊んだりする。【人・将】

(2) 個別の目標

- A児・教師の言葉を聞いて、友達を誘って遊具で遊ぶ。【人】
 - ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達が遊ぶ様子を見たりして、身体を動かして遊ぶ。【将】
- B児・教師の誘いを受け入れて、友達と遊具で遊ぶ。【人】
 - ・教師と一緒に身体を動かして遊ぶ。【将】
- C児・教師や友達が遊ぶ様子を見て、友達と場を共有して遊ぶ。【人】
 - ・教師や友達の誘いを受け入れて、遊具で遊ぶ。【人】

4 指導と評価の計画 「ゴーゴーランドで遊ぼう」(全5時間 本時は5/5時間)

時間	予想される児童の活動 ()は主な設定遊具	指導上の留意点及び支援、見取りの視点
1	〈風船遊び〉 ・教師や友達と風船を投げたり打ったりするだろう。 ・風船プールに教師や友達と入り、風船を投げ合うだろう。 ・バルーン(パラシュート)を持って教師と上げ下げするだろう。	・身体を動かして遊べるように広いスペース、高い位置にハンモックを設定する。 ・児童が興味をもてるように、大小や形、鈴が入ったものなど様々な風船を用意する。 ・友達を意識できるように、教師が友達の名前を呼びながら一緒に風船を打ち合う。 ・児童が場を共有して遊べるように、風船プールやバルーン(パラシュート)を用意する。 [全時間共通の留意点及び支援] ・児童の活動を促したり、楽しい雰囲気を作ったりするために、教師も児童の立場になって一緒に楽しく遊ぶ。 ・安全面で配慮が必要な場面、見守りや言葉かけの支援が必要な場面など、教師間で連携し、児童の遊ぶ様子に応じて適切に支援する。 ・児童が精神的に不安定な場合、活動場所や時間を変え、その状態に応じて適切に対処する。 A児・教師や友達と風船を投げたり打ったりしている。 B児・教師が投げたり打ったりした風船を、教師に打ち返している。 C児・風船を自分から持ったり投げたりしている。
1	〈台車遊び〉新設遊具 〈風船遊び〉 ・友達を誘って台車に乗るだろう。 ・教師や友達の誘いを受け入れて、台車に乗るだろう。 ・教師や友達と風船を投げたり打ったりするだろう。 ・鈴入り風船を持ったり、上に乗ったりするだろう。	・児童が興味をもって遊べるように、スロープと台車、音が出るトンネルを組み合わせて場を設定したり、大きな風船に鈴を入れてジャラジャラと音が出るようにしたりする。 ・楽しい雰囲気を作るために、台車で滑るときには元気よくかけ声をかける。 ・友達と一緒に遊ぶきっかけになるように、児童が遊んでいる様子を教師が伝える。 ・友達と一緒に台車に乗れるように教師が誘ったり、「誘ってみたら」と児童に言葉をかけたりする。 A児・教師の「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗っている。 ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達が遊ぶ姿を見たりして、風船を投げたり打ったりしている。 B児・教師の誘いを受け入れて、友達と台車に乗っている。 ・教師と一緒に風船を投げたり打ったりしている。 C児・教師や友達が遊ぶ様子を見て、友達と場を共有し、鈴入り風船を持ったり上に乗ったりしている。 ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車に乗っている。

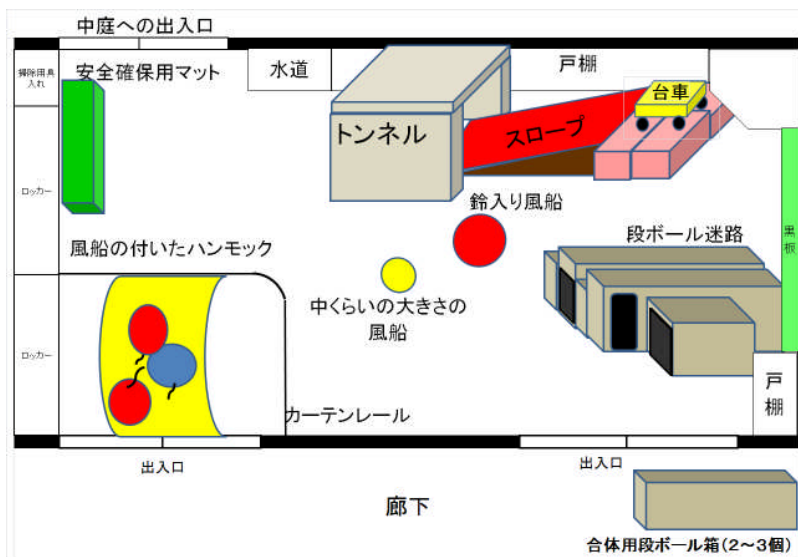
1	<p>〈迷路遊び〉 新設遊具 〈風船遊び〉 〈台車遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷路に入って四つばいや腹ばいで進むだろう。 ・教師や友達と風船を投げたり打ったりするだろう。 ・鈴入り風船を持ったり、上に乗ったりするだろう。 ・友達を誘って台車に乗るだろう。 ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車に乗るだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが一つに限定しないように、段ボールで作った迷路をスロープの近くに設置する。いろいろな遊具で遊べるように、児童の様子に応じて「～する？」と誘ったり「次は何をする？」と聞いたりする。 ・友達と一緒に迷路に入ったときには、友達とのかかわりを促すために、児童の名前を呼んだり、遊ぶ様子を言葉で伝えたりする。 ・迷路の中の様子を見たり、外から声をかけたりできるように、小さな窓を作っておく。 ・児童が友達と一緒に風船バレーをやりやすいように、児童の組み合わせを配慮する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A児・教師の「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達が遊ぶ姿を見たりして、風船を打ったり迷路に入ったりしている。 <p>B児・教師の誘いを受け入れて、友達と台車に乗っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に風船を投げたり打ったり、迷路に入ったりしている。 <p>C児・教師や友達が遊ぶ様子を見て、友達と場を共有し、鈴入り風船を持ったり上に乗ったり、迷路に入ったりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車に乗っている。 </div>
2	<p>〈風船遊び〉 〈台車遊び〉 〈迷路遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と風船を投げたり打ったりするだろう。 ・鈴入り風船を持ったり、上に乗ったりするだろう。 ・友達を誘って台車に乗るだろう。 ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車に乗るだろう。 ・迷路に入って寝転んだり、四つばいや腹ばいで進んだりするだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に遊べるように、児童の指さしや言葉、遊ぶ姿に共感・受容し、教師も一緒に遊ぶ。 ・児童が進む方向を選択できるように、迷路の途中でも外に出られるような出口を作ったり、ワクワク感をもって遊べるように秘密の扉を作ったりする。 ・より楽しさが増すように、遊びの後半には、児童と一緒に迷路を付け足して遊ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A児・教師の「だれと乗る？」や「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達が遊ぶ姿を見て、風船を投げたり打ったり、迷路に入って四つばいや腹ばいで進んだりしている。 <p>B児・教師の「A児（C児）と一緒に乗る？」という言葉を聞いて、友達と台車に乗っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に風船を投げたり打ったり、迷路に入って四つばいや腹ばいで進んだりしている。 <p>C児・教師や友達が遊ぶ様子を見て、友達と場を共有し、鈴入り風船を持ったり上に乗ったり、迷路に入って寝転んだりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車に乗っている。 </div>

5 本時の学習

(1) ねらい

- A児・教師の「だれと乗る？」や「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車で遊ぶ。【人】
- ・教師や友達が遊ぶ姿を見て、風船や迷路で遊ぶ。【将】
- B児・教師の「A児（C児）と一緒に乗る？」という言葉を聞いて、友達と台車で遊ぶ。【人】
- ・教師と一緒に風船や迷路で遊ぶ。【将】
- C児・教師や友達が遊ぶ様子を見て、友達と場を共有し、風船や迷路で遊ぶ。【人】
- ・教師や友達の誘いを受け入れて、友達と台車で遊ぶ。【人】

(2) 遊具配置図



(3) 展開1 (1 / 5時間)

学習活動	●教師の支援、*留意点			評価の観点
① ゴーゴーランドで遊ぶことを知る。 (5分)	●本時は風船で遊ぶことを実物の風船を提示して伝える。【情】 ●途中で風船を増やしたり、バルーン(パラシュート)に風船をのせたりして遊ぶことを伝える。【情】 *終了のタイマーが鳴ったら、風船を片付けて遊びを終わりにすることを伝える。			
② 風船を膨らます。 (8分)	●手で押し出す、足で踏むなど、いろいろな方法で膨らませる道具を用意し、一つ一つ実演しながら使い方を見せる。【将・情】 ●自分で使いたい道具を選べるように、いろいろな道具を児童の前に提示する。【意】			A児 ・自分で道具を選んで使うことができたか。 【意】
	A児 ●道具を使うときには、手元を見て、ゆっくり操作するとできることを伝える。必要に応じて、もう一度使い方を実演してみせる。【将】	B児 ●選んで指さしできるように、二つの道具を交互に提示し、考える時間を設ける。【意】 ●道具を使うときには、必要に応じて手を添えて一緒に使う。【将】	C児 ●Cが風船を膨らますことに興味を示さない場合は、すでに膨らんでいる風船を提示し、すぐに遊ぶ。 【人・将】	B児 ・自分で使いたい道具を指さして選べたか。 【意】 C児 ・風船を膨らます様子を興味をもって見ていたか。【人・情】
③ ゴーゴーランドで遊ぶ。 (いろいろな風船) 〈風船プール〉 〈バルーン〉 (25分)	●身体を動かして遊べるように、広いスペース、高い位置にハンモックを設定する。【将】 *初めは風船だけで投げたり打ったりして遊べるように、風船プールやバルーンは提示しない。児童の遊びの様子に応じて風船や道具を徐々に増やしていく。 ●風船を投げる、打つ、ハンモックに入れるなど、様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【将】 ●あおいで風船を飛ばせるように、うちわやスポンジfrisビーなどを提示し、教師が使って見せる。【将】 *風船プールは、安全面を考慮し、マットの上に置く。 *バルーンは、初め教師が持って操作するが、操作したい児童がいれば一緒に持ったり役割を交代したりして遊ぶ。			
	A児 ●友達を意識できるように、教師が友達の名前を呼びながら一緒に風船を打ち合う。【人】 ●友達と遊ぶときには、友達の名前を呼んでみるようにA児に声をかける。【人】 ●ハンモックに風船を入れる様子が見られたら、やる気持ちを喚起できるように「競争しよう」と言葉をかける。【将】	B児 ●友達を意識できるように、教師が友達の名前を呼びながら一緒に風船を打ち合う。【人】 ●「B児、いくよ!」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●B児が道具を使う際には、友達に当たらないように気を付け、必要に応じて言葉をかける。 【情・人】	C児 ●C児があまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●風船プールには、鈴の入った風船も混ぜ、音を楽しめるようにする。 【人・将】 ●様子に応じてC児の好きな段ボールを提示する。中に入って遊ぶようであれば、段ボールの中に風船を入れて風船で埋もれる感触を楽しめるようにする。【人・将】	A児 ・教師や友達と風船を投げたり打ったりしたか。【人・将】 B児 ・教師が投げたり打ったりした風船を、教師に打ち返したか。 【人・将】 C児 ・風船を自分から持ったり投げたりしたか。 【人】
④ 風船を片付けて遊びを終わりにする。 (7分)	●タイマーの音を確認し、みんなで風船を片付けることを伝える。【将】 ●片付ける方法が分かりやすいように、大きな袋を用意する。【情】 *風船全部を片付けられなくても、児童の様子に応じて片付け終了を伝える。			

※キャリア発達にかかわる四つの能力領域【人】：人間関係形成能力、【情】：情報活用能力、【将】：将来設計能力、【意】：意思決定能力

(4) 展開2 (2 / 5時間)

学習活動(時間)	●教師の支援、*留意点	評価の観点						
① ゴーゴーランドで遊ぶことを知る。 (5分)	●遊具の写真を提示して、本時は何で遊ぶかを伝える。【情】 *終了のタイマーが鳴ったら、風船を片付けて遊びを終わりにすることを伝える。 ●ゴーゴーランドへの期待感もてるように、「ゴーゴーランドに行こう！レッツゴー！」のかけ声をかけてから小学部プレイルームに行く。【将】							
② ゴーゴーランドで遊ぶ。 <台車遊び> <風船遊び> (35分)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">A児</th> <th style="width:33%;">B児</th> <th style="width:33%;">C児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="293 724 792 1294">●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を選ぶように言葉をかける。【人・将・意】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●友達と遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、友達の名前を呼んでみるようにA児に言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】</td> <td data-bbox="799 724 1299 1294">●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●風船を割ったり物を壊そうとしたりする行為が出ないように、B児を遊びに誘う。また、遊具を壊しそうな場合には、なるべくその前に注意がそれるように働きかける。【情】 ●友達が台車に乗るときに、「一緒に乗る？」と聞いたり手招きで呼んだりして誘う。【人】</td> <td data-bbox="1305 724 1816 1294">●風船に興味をもてるように、「ジャラジャラ」音がする鈴を入れた大きな風船を用意する。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【人・情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】</td> </tr> </tbody> </table> <p>●興味をもって遊べるように、台車にスロープ、鈴を付けたトンネルを組み合わせて配置する。【将】 ●風船やボールが付いたハンモックを教室の後ろに設置し、児童がハンモックを両手で打ち上げられるようにする。【将】 ●割れにくい素材の風船を使用する。【将】 ●風船バレー用の広いスペースも用意する。【将】 ●台車でスロープを滑るときには、「3, 2, 1, スタート！」など、かけ声をかけて楽しい雰囲気を作る。【将】 *安全面を考慮し、台車に乗る際は座り方や足・手の位置を確認してから台車を滑らせる。また、台車で滑る際は、T1, T2のどちらかが必ず付くようにする。 *児童の様子に応じて、いろいろな遊具で遊べるように誘う。</p>	A児	B児	C児	●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を選ぶように言葉をかける。【人・将・意】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●友達と遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、友達の名前を呼んでみるようにA児に言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】	●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●風船を割ったり物を壊そうとしたりする行為が出ないように、B児を遊びに誘う。また、遊具を壊しそうな場合には、なるべくその前に注意がそれるように働きかける。【情】 ●友達が台車に乗るときに、「一緒に乗る？」と聞いたり手招きで呼んだりして誘う。【人】	●風船に興味をもてるように、「ジャラジャラ」音がする鈴を入れた大きな風船を用意する。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【人・情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】	A児 ・教師の「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗ったか。【人】 ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達遊ぶ姿を見たりして、風船を投げたり打ったりしたか。【将】 B児 ・教師の誘いを受け入れて、友達と台車に乗ったか。【人】 ・教師と一緒に風船を投げたり打つたりしたか。【将】 C児 ・教師や友達遊ぶ様子を見て、鈴入り風船を持ったり上に乗ったりしたか。【人】 ・教師や友達の誘いを受け入れて、台車に乗ったか。【人】
A児	B児	C児						
●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を選ぶように言葉をかける。【人・将・意】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●友達と遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、友達の名前を呼んでみるようにA児に言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】	●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●風船を割ったり物を壊そうとしたりする行為が出ないように、B児を遊びに誘う。また、遊具を壊しそうな場合には、なるべくその前に注意がそれるように働きかける。【情】 ●友達が台車に乗るときに、「一緒に乗る？」と聞いたり手招きで呼んだりして誘う。【人】	●風船に興味をもてるように、「ジャラジャラ」音がする鈴を入れた大きな風船を用意する。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【人・情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】						
③ 風船を片付けて遊びを終わりにする。(5分)	●タイマーの音を確認し、遊びが終わりであることを伝える。【情】 ●風船を大きな袋に片付けてから、緑の長いすに集まることを伝える。【情・将】 *全員が片付けられたら教室に戻る。児童の様子に応じて、T2と先に教室に戻ることも考慮する。							

(5) 展開3 (3/5時間)

学習活動(時間)	●教師の支援、*留意点	評価の観点						
<p>① ゴーゴーランドで遊ぶことを知る。(8分)</p>	<p>●遊具の写真を提示して、本時は何で遊ぶかを伝える。【情】 ●風船や迷路は次の時間も使うため、割ったり壊したりしないで遊ぶことを伝える。【情】 *風船バレー用の風船は、A児が教師と一緒に教室でふくらましてからゴーゴーランドに行く。 *終了のタイマーが鳴ったら、風船を片付けて遊びを終わりにすることを伝える。 ●ゴーゴーランドへの期待感がもてるように、「ゴーゴーランドに行こう！レッツゴー！」のかけ声をかけてから小学部プレイルームに行く。【将】</p>							
<p>② ゴーゴーランドで遊ぶ。(32分) 〈迷路遊び〉 〈風船遊び〉 〈台車遊び〉</p>	<p>●いろいろな遊具に目を向けて遊べるように、段ボール迷路と台車を近くに設置する。【人・将】 ●風船が付いたハンモックを教室の後ろに設置し、児童がハンモックを両手で打ち上げられるようにする。【将】 ●割れにくい素材の風船を使用する。【将】 ●風船バレー用の広いスペースを用意する。【将】 *風船バレーの組み合わせは、教師対B児、教師・B児対A児になるように配慮する。 ●台車でスロープを滑るときには、「3, 2, 1, スタート！」など、かけ声をかけて楽しい雰囲気を作る。【将】 *安全面を考慮し、台車に乗る際は座り方や足・手の位置を確認してから台車を滑らせる。また、台車で滑る際は、T1, T2のどちらかが必ず付くようにする。 *児童の様子に応じて、いろいろな遊具で遊べるように誘う。</p> <table border="1" data-bbox="293 683 1816 1321"> <thead> <tr> <th data-bbox="293 683 792 715">A児</th> <th data-bbox="799 683 1299 715">B児</th> <th data-bbox="1305 683 1816 715">C児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="293 715 792 1321"> <p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「B児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●台車で遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、「誘ってみたら」と言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいて呼ぶように伝える。【人】</p> </td> <td data-bbox="799 715 1299 1321"> <p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「A児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●あまり激しい遊び方ではなく、無理のないようB児のペースで遊べるように遊具を教師が操作する。【人・将】 ●友達が台車で遊ぶときには、「一緒に乗る？」と聞いてB児を誘う。【人】</p> </td> <td data-bbox="1305 715 1816 1321"> <p>●迷路に興味をもてるように、教師もC児と一緒に迷路に入り、楽しく遊ぶ。【情】 ●迷路の出口付近に大きな風船を置いておき、迷路から出たら風船に乗って遊ぶことを誘ってみる。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A児	B児	C児	<p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「B児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●台車で遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、「誘ってみたら」と言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいて呼ぶように伝える。【人】</p>	<p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「A児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●あまり激しい遊び方ではなく、無理のないようB児のペースで遊べるように遊具を教師が操作する。【人・将】 ●友達が台車で遊ぶときには、「一緒に乗る？」と聞いてB児を誘う。【人】</p>	<p>●迷路に興味をもてるように、教師もC児と一緒に迷路に入り、楽しく遊ぶ。【情】 ●迷路の出口付近に大きな風船を置いておき、迷路から出たら風船に乗って遊ぶことを誘ってみる。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】</p>	<p>A児 ・教師の「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗ったか。【人】 ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達が遊ぶ姿を見たりして、風船を打ったり迷路に入ったか。【将】</p> <p>B児 ・教師の誘いを受け入れて、友達と台車に乗ったか。【人】 ・教師と一緒に風船を投げたり打ったり、迷路に入ったか。【将】</p> <p>C児 ・教師や友達が遊ぶ様子を見て、鈴入り風船を持ったり上に乗ったり、迷路に入ったか。【人】 ・教師や友達の誘いを受け入れて、台車に乗ったか。【人】</p>
A児	B児	C児						
<p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「B児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら受容・共感し、一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●風船を投げる、打つなど様々な遊び方を見せながら、教師も一緒に楽しく遊ぶ。【人・将】 ●台車で遊ぶときには、教師が児童の名前を呼んだり、「誘ってみたら」と言葉をかけたりする。呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいて呼ぶように伝える。【人】</p>	<p>●迷路に入って遊ぶ友達の様子を伝え、「一緒に入ろう」や「A児(C児)を追いかけよう」と誘う。【人・将】 ●風船バレー用の風船は、割れにくい風船を2個(大1個、中1個)用意し、自分で使いたい方を指さしで選べるように、B児の前で風船を提示する。【人・将・意】 ●「B児、いくよ！」と教師が言葉をかけながら、風船を投げたり打ったりし、風船に注目できるようにする。【人・将】 ●あまり激しい遊び方ではなく、無理のないようB児のペースで遊べるように遊具を教師が操作する。【人・将】 ●友達が台車で遊ぶときには、「一緒に乗る？」と聞いてB児を誘う。【人】</p>	<p>●迷路に興味をもてるように、教師もC児と一緒に迷路に入り、楽しく遊ぶ。【情】 ●迷路の出口付近に大きな風船を置いておき、迷路から出たら風船に乗って遊ぶことを誘ってみる。【人】 ●風船を上から落として音を鳴らして見せたり、風船の上に乗って見せたりする。【情】 ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、教師がC児のまねをしたり、教師が遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●台車に乗ることをA児がC児を誘っても気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】</p>						
<p>③ 風船を片付けて遊びを終わりにする。(5分)</p>	<p>●タイマーの音を確認し、遊びが終わりであることを伝える。【情】 ●風船を大きな袋に片付けてから、緑の長いすに集まることを伝える。【情・将】 ※全員が片付けられたら教室に戻る。児童の様子に応じて、T2と先に教室に戻ることも考慮する。</p>							

(6) 展開4 (4/5時間)

学習活動(時間)	●教師の支援、*留意点	評価の観点						
<p>① ゴーゴーランドで遊ぶことを知る。(5分)</p>	<p>●遊具の写真を提示して、本時は何で遊ぶかを伝える。【情】 *終了のタイマーが鳴ったら、風船を片付けて遊びを終わりにすることを伝える。 ●ゴーゴーランドへの期待感がもてるように、「ゴーゴーランドに行くぞ！えい、えい、おー！」のかけ声をかけてから小学部プレイルームに行く。【将】</p>							
<p>② ゴーゴーランドで遊ぶ。 〈風船遊び〉 〈台車遊び〉 〈迷路遊び〉 (35分)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">A児</th> <th style="width:33%;">B児</th> <th style="width:33%;">C児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る？」や「誘ってみたら」などの言葉をかける。【人】 名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように伝える。【人】 ●A児が「風船を膨らまそう」と声をかけてきたら、教師がその場で風船をふくらませたり、しぼませたりして楽しい雰囲気を作る。【将】 ●友達に注意が向くように、「～が迷路に入ったよ」「～が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「～を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたときには、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ！」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るときに、「A児(C児)と一緒に乗る？」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児の様子を近くで見守ったり、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さし、台車に乗ることを誘う。【人・情】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】 ※窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A児	B児	C児	<p>●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る？」や「誘ってみたら」などの言葉をかける。【人】 名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように伝える。【人】 ●A児が「風船を膨らまそう」と声をかけてきたら、教師がその場で風船をふくらませたり、しぼませたりして楽しい雰囲気を作る。【将】 ●友達に注意が向くように、「～が迷路に入ったよ」「～が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「～を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】</p>	<p>●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたときには、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ！」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るときに、「A児(C児)と一緒に乗る？」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】</p>	<p>●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児の様子を近くで見守ったり、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さし、台車に乗ることを誘う。【人・情】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】 ※窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。</p>	<p>A児 ・教師の「だれと乗る？」や「誘ってみたら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗ったか。【人】 ・教師の誘いを受け入れたり教師や友達が遊ぶ姿を見たりして、風船を打ったり迷路に入ったりしたか。【将】 B児 ・教師の「A児(C児)と一緒に乗る？」という言葉を受けて、友達と一緒に台車に乗ったか。【人】 ・教師と一緒に風船を投げたり打ったり、迷路に入って四つばいや腹ばいで進んだりしたか。【将】 C児 ・教師や友達が遊ぶ様子を見て、大きな風船の上に乗ったり、迷路に入ったりしたか。【人】 ・教師や友達の誘いを受け入れて、台車に乗ったか。【人】</p>
A児	B児	C児						
<p>●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る？」や「誘ってみたら」などの言葉をかける。【人】 名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように伝える。【人】 ●A児が「風船を膨らまそう」と声をかけてきたら、教師がその場で風船をふくらませたり、しぼませたりして楽しい雰囲気を作る。【将】 ●友達に注意が向くように、「～が迷路に入ったよ」「～が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「～を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】</p>	<p>●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたときには、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ！」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るときに、「A児(C児)と一緒に乗る？」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】</p>	<p>●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児の様子を近くで見守ったり、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さし、台車に乗ることを誘う。【人・情】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう！」と誘ったりする。【人】 ※窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。</p>						
<p>③ 風船を片付けて遊びを終わりにする。(5分)</p>	<p>●タイマーの音を確認し、遊びが終わりであることを伝える。【情】 ●風船を大きな袋に片付けてから、緑の長いすに集まることを伝える。【情・将】 ※全員が片付けられたら教室に戻る。児童の様子に応じて、T2と先に教室に戻ることも考慮する。</p>							

(7) 展開5 (5 / 5時間)

学習活動(時間)	●教師の支援、*留意点	評価の観点						
<p>① ゴーゴーランドで遊ぶことを知る。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「ゴーゴーランドで遊ぼう」は、今日で最後であることを伝える。【情】 ●遊具の写真を提示して、本時は何で遊ぶかを伝える。【情】 ●途中で迷路を付け足す時間(合体タイム)があることを予告する。【情】 ●迷路を付け足すことが視覚的にわかるように、小さな箱を実際に付け足して見せる。【情】 ●ゴーゴーランドへの期待感がもてるように、「ゴーゴーランドに行くぞ! えい、えい、おー!」のかけ声をかけてから小学部プレイルームに行く。【将】 							
<p>② ゴーゴーランドで遊ぶ。</p> <p>〈風船遊び〉</p> <p>〈台車遊び〉</p> <p>〈迷路遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に設定してある迷路で遊ぶ。 ・後からつなげた迷路で遊ぶ。 <p>(35分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が自分で遊具を選んで遊べるように、迷路の出口付近に台車のスロープを設置し、風船も置いておく。【情・意】 ●児童の様子に応じて、風船を弾ませて音を出す、上に座って弾む、トンネルの中に転がすなどの遊び方を見せる。【情】 ●台車でスロープを滑るときには、「3, 2, 1, スタート!」など、かけ声をかけて楽しい雰囲気を作る。【将】 ●迷路に対してワクワク感をもって遊べるように、迷路の中に秘密の扉を設置しておく。【将】 ●外から中の様子を見たり、声をかけたりできるように、迷路に3カ所くらい小さな窓を作っておく。【人】 *安全面を考慮し、台車に乗る際は座り方や足・手の位置を確認してから台車を滑らせる。また、台車で滑る際は、T1, T2のどちらかが必ず付くようにする。 *途中で迷路を付け足すときは、児童の遊びの様子に応じ、もう少し遊んでからにするなど臨機応変に対応する。付け足す場合は教師が中心に作業をする。また、児童が自分から手伝う様子が見られたら称賛する。 <table border="1" data-bbox="293 667 1789 1374"> <thead> <tr> <th data-bbox="293 667 779 695">A児</th> <th data-bbox="786 667 1272 695">B児</th> <th data-bbox="1279 667 1789 695">C児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="293 700 779 1374"> <ul style="list-style-type: none"> ●友達が注意が向くように、「B児(C児)が迷路に入ったよ」「B児(C児)が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る?」や「誘って見たら」などの言葉をかける。【人】 ●名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら、さらに意欲的に遊べるように、その場で風船をふくらしたり、床に障地を区切るラインをビニールテープで作ったりする。【将】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「B児(C児)を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児から出された自由な発想の遊びを受け入れ、B児やC児を誘いながら教師も一緒に遊ぶ。【人・将】 </td> <td data-bbox="786 700 1272 1374"> <ul style="list-style-type: none"> ●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたら、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ!」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るとき、「A児(C児)と一緒に乗る?」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、教師も後から入り、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】 </td> <td data-bbox="1279 700 1789 1374"> <ul style="list-style-type: none"> ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児に教師が風船や台車で遊んでいる姿や、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せる。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さしたり、教師が台車に乗って見せたりして誘う。【人・情】 *窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。 </td> </tr> </tbody> </table>	A児	B児	C児	<ul style="list-style-type: none"> ●友達が注意が向くように、「B児(C児)が迷路に入ったよ」「B児(C児)が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る?」や「誘って見たら」などの言葉をかける。【人】 ●名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら、さらに意欲的に遊べるように、その場で風船をふくらしたり、床に障地を区切るラインをビニールテープで作ったりする。【将】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「B児(C児)を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児から出された自由な発想の遊びを受け入れ、B児やC児を誘いながら教師も一緒に遊ぶ。【人・将】 	<ul style="list-style-type: none"> ●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたら、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ!」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るとき、「A児(C児)と一緒に乗る?」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、教師も後から入り、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】 	<ul style="list-style-type: none"> ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児に教師が風船や台車で遊んでいる姿や、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せる。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さしたり、教師が台車に乗って見せたりして誘う。【人・情】 *窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。 	<p>A児</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の「だれと乗る?」や「誘って見たら」という言葉を聞いて、友達を誘って台車に乗ったか。【人】 ・教師や友達が遊ぶ姿を見て、風船を打ったり、迷路に入って四つばいや腹ばいで進んだりしたか。【将】 <p>B児</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の「A児(C児)と一緒に乗る?」という言葉を受けて、友達と台車に乗ったか。【人】 ・教師と一緒に風船を投げたり打ったり、迷路に入って四つばいや腹ばいで進んだりしたか。【将】 <p>C児</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達が遊ぶ様子を見て、鈴入り風船の上に乗ったり、迷路に入って寝転んだりしたか。【人】 ・教師や友達の誘いを受け入れて、台車に乗ったか。【人】
A児	B児	C児						
<ul style="list-style-type: none"> ●友達が注意が向くように、「B児(C児)が迷路に入ったよ」「B児(C児)が台車で行くよ」など、B児やC児が遊ぶ様子を言葉で伝える。【情・人】 ●台車や風船で遊ぶときには、「だれと乗る?」や「誘って見たら」などの言葉をかける。【人】 ●名前を呼んでも友達が気付かない場合は、肩をたたいてから呼んでみるように言葉をかける。【人】 ●A児が「バレーボールしよう」と声をかけてきたら、さらに意欲的に遊べるように、その場で風船をふくらしたり、床に障地を区切るラインをビニールテープで作ったりする。【将】 ●友達が迷路に入ったら、「渋滞しているよ」と伝えたり、「B児(C児)を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児から出された自由な発想の遊びを受け入れ、B児やC児を誘いながら教師も一緒に遊ぶ。【人・将】 	<ul style="list-style-type: none"> ●風船を指さしたり、ハンモックにある風船を持ったりしたら、「風船をのせて」と動作を促したり、風船を打ち上げるときのかけ声をかけたりする。【将】 ●風船遊びでは風船に注目できるように、「B児、いくよ!」「見ててね」など、言葉をかけながら一緒に風船を投げたり打ったりする。【人・将】 ●迷路から出たときや友達が台車に乗るとき、「A児(C児)と一緒に乗る?」と聞いたり、手招きで呼んだりする。【人】 ●B児が迷路に入るときには、四つばいや腹ばいの姿勢になり、頭から入れるように言葉をかけたり手を添えたりする。また、教師も後から入り、先にいる友達を追いかけるように言葉をかける。【将・人】 	<ul style="list-style-type: none"> ●あまり興味を示さない場合には、無理には誘わず、C児に教師が風船や台車で遊んでいる姿や、教師が他の児童と遊んでいる様子を見せる。【人・情】 ●C児が迷路に入ったら、小さな窓から名前を呼んだり、A児やB児に「C児を追いかけよう!」と誘ったりする。【人】 ●A児がC児を呼んでも気付かない場合は、教師も一緒にC児を呼んだり肩をたたいて知らせたりする。【人・情】 ●窓側の戸棚からスロープに降りたら、台車を指さしたり、教師が台車に乗って見せたりして誘う。【人・情】 *窓側の戸棚に上がったときには、安全面を配慮し、手を添えてC児が降りる動作を補助する。 						
<p>③ 風船を片付けて遊びを終わりにする。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びの終わりを普段使っているタイマーの音で知らせる。【情】 ●風船を大きな袋に片付けてから、緑の長いすに集まることを伝える。【情・将】 ●「ゴーゴーランドで遊ぼう」は、今日で終わることを言葉とサインで伝える。【情】 *全員で教室に戻るが、児童の様子に応じて、T2と先に教室に戻ることも考慮する。 							